

< 記者発表 >

女川原発プルサーマル計画に関する住民アンケートの実施について

2010年1月12日

女川町議会議員 高野 博

女川町議会議員 阿部律子

東北電力が申請している女川原発3号機でのプルサーマル実施について、12月24日に国の安全審査が事実上終了し、宮城県と女川町も同日、計画を容認する『自治体の見解』を公表しました。しかし、「住民の理解」が計画実施の条件とされながら、立地町である女川町では住民の意思を把握する本格的な取り組みはされていません。

そこで、女川町議会の高野博・阿部律子は、東北電力が申請している女川原発3号機でのプルサーマル実施に関して女川町住民を対象にしたアンケート調査を行うことにいたしました。この調査の社会的意義にかんがみて、事前に調査の内容とその目的等を明らかにしていく必要があると考えるので、以下のように発表いたします。

1、アンケート調査の最大の目的は、住民が意思を表明する機会をつくることです

アンケートは、プルサーマル計画を知っているかどうか、東北電力等の説明は十分か、安全だと思うか、プルサーマル計画は必要だと思うか、住民投票は必要だと思うか、賛成か反対かおよびその理由、意見・要望を自由に表明していただく形式にしています。

私たちは、プルサーマルについては、危険を増やすだけで「百害あって一利なし」という判断を有しています。しかし、アンケートは、中立的なものにしています。それは、今回のアンケート調査の最大の目的を、何よりも住民のみなさまにその意思を表明する機会を保障するところに置いたからです。

アンケート調査の結果は、町政の発展に資するとともに、寄せられた意見や要望の実現をめざして私たちの活動に役立てていく考えです。

2、全世帯を対象にし、費用には議会から交付される政務調査費を充てます

今回のアンケートは、緊迫した情勢のもとで住民の意向を把握するという非常に高い公共性をもつ調査になります。

そこで調査の規模については、回答用紙、返信用封筒を全世帯に届ける悉皆調査とすることにしました。

調査の公共性にかんがみて、その費用には、議会が調査目的に各議員に交付する政務調査費を充てることにいたしました。

3、調査のためのボランティア参加を呼びかけます

アンケート調査は、両議員が主催するものですが、短期間で配布する必要があるので協力していただける方のボランティア参加を呼びかけるものです。

1月16日(土)と17日(日)の両日、10時から15時まで、一斉訪問活動に取り

組みます。趣旨をご理解いただき、参加する方は、両日とも、女川町清水町の川尻集会所に10時においでください。調査活動のやり方を打ち合わせしたうえで、担当していただく地域を分担します。

ボランティア調査員は、身元を明らかにする名札等を着用して調査に当たり、住民のみなさまの理解が得られるようにいたします。

4、調査結果の公表について

回答は、最終的な締め切りは3月31日とします。結果は集計して公表します。

ただし、事態が切迫し、3月には予算議会が開会することから、中間的な集計を行って公表し、町政の発展と議会全体の審議の充実に役立てていただけるようにいたします。

なお、宮城県と女川町が「自治体の見解」にパブリックコメントを求めているので、その期限の1月27日に間に合う回答については、寄せられた意見を宮城県と女川町に伝えて、アンケート調査の主催者としての責任を果たす所存です。

以上

配布するアンケート用紙は別紙のとおりです。

< 問い合わせ先 >

高野 博	住所 牡鹿郡女川町清水町 4 4
	電話・FAX 0 2 2 5 (5 3) 3 6 1 4
阿部律子	住所 牡鹿郡女川町針浜字針浜 2 2 9
	電話・FAX 0 2 2 5 (5 4) 2 5 6 2